

第 41 回土木計画学研究発表会（春大会）：2010.6.5～6（名古屋工業大学）
企画セッション討議内容の記録

セッション名： 地域防災システム（1）	
日付： 6 月 6 日（日）曜日，セッション時間： 8：45 ～ 10：15	
オーガナイザー名（所属）： 畑山満則（京都大学防災研究所）	
討 議 内 容	<p>（裏面に個別論文の講評を記述できる欄を設けております．必要に応じてお使いください．）</p> <p>全体討議は行わず，個別の発表で議論がなされた．； 詳細は裏面参照のこと．</p>

<p>(発表番号) 317 発表者名 (所属): 木村美瑛子 (オリエンタルコンサルタンツ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の継続性について → 新小岩地区では、NPO が防災 WS を行っている。ただ、NPO は地域に基盤があるわけではないので、今後どのように地域主体にしていくかが課題に残る。 ・洪水ハザードマップはいざというときに役立つのか疑問。事中に役立つかは議論がいるだろう。
<p>(発表番号) 318 発表者名 (所属): 木下猛 (群馬大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回収率が 13.1%となっている。関心のある人に偏ったサンプルと思われ、バイアスがかかっているのではないかと → 対象地区は災害リスクがそれほど高くなかったため、回収率は低かったと考えている。 → 今回は意識の高い人の認識についての分析なので問題なのではないか？
<p>(発表番号) 319 発表者名 (所属): 柿本竜治 (熊本大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このようなシステムができると専門家やコンサルの仕事はどうなっていくのか？ → 制約条件などは隠ぺいされてしまうので、結果が誤解を生む可能性はある。
<p>(発表番号) 320 発表者名 (所属): 島晃一 (IDA 社会技術研究所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの内容について <p>→ プレ調査で震災経験の有無については確認している。</p> <p>→ 「なんらかの備えについても具体的に聞いたものをまとめている」</p>
<p>(発表番号) 321 発表者名 (所属): Ahmed WAHID UDDIN (金沢大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Sources of information within different professions において、Self employed, public employees ,Businessmen, Private employee の違いは何か？よく似たカテゴリーであるが、Sources にかなり違いがあるので、明確に定義したほうがよい。
<p>(発表番号) 322 発表者名 (所属): 及川康 (群馬大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの実施手法は？ <p>→ 被験者グループを作って、行った。同じ人に3回行ったわけではない。</p>
<p>(発表番号) 323 発表者名 (所属): 中野一慶 (京都大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海集中豪雨の前と後の比較はしているか？ <p>→ まだ行っていない。今後、検討したい。</p>
<p>(発表番号) 発表者名 (所属):</p>
<p>(発表番号) 発表者名 (所属):</p>